

長野県消防防災ヘリコプターの墜落事故について

広域応援室

1. 概要

平成29年3月5日(日)、長野県消防防災ヘリコプター「アルプス」が長野県鉢伏山付近をフライト訓練中に墜落し、操縦士1名、整備士1名、消防隊員7名の方が犠牲となりました。

亡くなられた9名の皆様に哀悼の意を表します。事故原因については、国土交通省運輸安全委員会において調査中ですが、消防庁では今回の事故を受け、3月8日(水)に下記の内容の通知を发出了しました。

2. 消防防災ヘリコプターの安全確保の再徹底について

(1) 安全管理体制の再点検

運航管理要綱等で定める安全管理体制を再度点検し、安全運航について不十分な点があれば改善すること。

(2) 訓練時を含めた安全確保の徹底

再点検した結果を踏まえ、訓練時から安全運航を徹底すること。

(3) 地形、気象等の事前把握の徹底

管轄の山岳地帯等について、障害物の多い地域や気流の変化の激しい地域等の地形特性を把握するとともに、気象状況の把握のための情報の入手先を確認しておくこと。

(4) 運航時の留意事項

(a) 運航の可否について、機長のみの判断に委ねず、運航管理者や航空隊員等からの助言をもとに客観的に判断するように努めること。

(b) 山岳救助活動(訓練を含む。以下同じ。)を行う場合においては、使用する機体の特性を十分熟知した上、機体重量、重心位置、気温、高度等を確実に把握し、余力をもった安全運航に心掛けること。

(c) 障害物の多い地域における救助活動は、操縦士の死角部分に見張りを付ける等、安全を確保しながら慎重に行うこと。

(d) ヘリコプター基地において、ヘリコプターが離陸した後、活動に影響する情報が得られた場合には、基地から随時ヘリコプターに伝達するとともに、ヘリコプターの活動状況を把握する等、相互の情報共有に努めること。

(5) その他

平成24年3月に取りまとめられた「消防防災ヘリコプターによる山岳救助のあり方に関する検討会」報告書の提言を参照し、対応すること。

※報告書URL

http://www.fdma.go.jp/neuter/about/shingi_kento/h23/sangaku_kyujo_arikata/houkokusyo.pdf



長野県消防防災ヘリコプター「アルプス」

運航開始：平成9年9月
使用機種：ベル412EP
配備年月：平成9年4月
運航基地：松本空港
運航形態：自主運航

定員：15名
全幅・全長：14m×17.1m
最大重量：5,398kg
総飛行時間：5,270時間
(平成28年4月現在)

3. 最後に

長野県に対し、安全管理体制等について聞き取りを行い、二度と同様の事故が発生しないよう必要な対応を講じていきます。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 広域応援室 航空係
TEL: 03-5253-7527 (直通)